

日系祭りが帰ってきた!!

— 2021 ミニ祭り —

9月4日(土) 5日(日) 主催・会場：日系文化センター・博物館、バーナビー市

実行委員長 ルイズ阿久沢さんに聞く

やぐらの組まれた日系センター前庭で太鼓が響き、盆踊りが始まった。ビアガーデンでたこ焼きをつまみ、ビール、日本酒で上機嫌な人たちを横目にして館内に入ると、ロビーに並ぶ和風小物のお店の前から「かわいい!」の音が聞こえる。さらに奥へ進んだイベントホールでは人気の「スーパーボールすくい」を楽しむ子どもたちの笑顔があふれていた――。

こんな様子が展開されそうな日系祭りについて、実行委員長 6年目のルイズ阿久沢さんに話を聞きました。

ふ 2020年は従来の日系祭りではなく、野外イベントでしたね。

L.A.: はい。昨年は集会の人数制限のために、「サマーアット日系ガーデン」の名称で6回に分散して日本文化マーケットを開催しました。保健省の食品規制が厳しかったのですが、今年は皆様からのご要望にお応えしてたこ焼き、たい焼き、鉄板焼き、牛カツサンド、抹茶ドリンク、おまんじゅうほかフードも多く提供し、よりお祭りに近い形をお届けします。

ふ 盛りだくさんですね。イベントのオンライン開催も多い中、リアルに実施と決めた理由は?

L.A.: まだコロナで心配という方たちもいらっしゃると思いますが、ぜひ日系センターに来ていただいて、お祭りの盛り上がり、臨場感を肌で感じてもらいたい。どうしてもその思いがあるのです。

ふ 日系センターという場を大事にしたいと。

L.A.: はい。日系センターは「日系人が集える場所」そして「歴史を保存する場所」として2000年、カナダ政府の日系人への補償金をもとに日系の先人たちがファンドレイジングに奮闘して開館にこぎつけました。そうした先人たちの思いのこもった建物をぜひとも後世に残していきたい。そしてこの日系祭りの歩みの価値も引き継ぎたいのです。

ふ 歩みといえば阿久沢さんは今年で日系祭り実行委員長6年目ですね。

L.A.: はい。この日系祭りは、2013年が初開催で、2014年には五明明子さんが実行委員長として加わり、夫の海老澤彰さんがフード屋台やビアガーデンを取り入れて現在の基盤を作ってくださいました。その同じ年に私たち夫婦も実行委員会に加わり、2016年には実行委員長のバトンを五明さんから受け取ったのです。引き受けるからには納得のいくまで関わろうと思って続けさせてもらっています。

ふ 過去の日系祭りではどんな思い出深いシーンがありますか?

L.A.: 2018年に総領事館の協力で日本から伊賀忍者が来た時は会場に驚くほど人があふれ返りましてね。2019年に高円宮妃殿下が開会式にご臨席された時のことも非常に思い出深いですね。

ふ 過去の最大の来場者数1万4000人は、地域に愛されるイベントに成長してきた証ですね。例年の日系祭りでは子どもたちの喜ぶ姿が特に印象深いです。

L.A.: ありがたいことです。そしてやはり今後もぜひ多くの人に足を運んでいただき、子どもたちにも日本の祭りを伝えていきたいものです。とはいえこの状況ですから、今回は人数を制限しながらの「ミニ版」の開催になり



日本のお祭りを子どもたちに (撮影 Manto Artworks)

ます。

ふ コロナの感染対策はどのように実施しますか?

L.A.: 一つ目は入場時間を指定しての前売りチケット販売ですね。当日のチケット販売もありますが、これで人数の管理とスムーズな入場を促します。そしてパフォーマンスを野外での実施にしました。ちび太鼓、彩月会の日本舞踊、和楽器演奏の節童などが登場します。

ふ 読者の皆さんへ一言お願いします。

L.A.: 今年はビアガーデンにBC州日本酒協会が参加するほか、冷房の効いたホールでは子ども向けゲームや休憩用スペースも用意します。皆さんに日本のお祭りを楽しんでいただけるよう実行委員会、ボランティアメンバーがそれぞれの持ち場でがんばっています。どうぞご家族揃って出かけください。

ふ お話どうもありがとうございました。

(取材 平野香利)

★日系祭り詳細情報、前売りチケット購入は <http://nikkeimatsuri.nikkeiplace.org>

ルイズ阿久沢(あくざわ)さんプロフィール

東京都出身。フルタイムでオフィスワークを続けながらバンクーバー新報記者として長年活躍。2016年より日系祭り実行委員長、2020年より日系文化センター・博物館理事に就任。イベントのために『フードセーフ・レベル1』の資格を取得。原稿作成や校正のスキルは各種の業務遂行に生きている。



盆踊りの様子 (撮影 Manto Artworks)